

中野区役所

13時間前

町会レポートNo.27 大和町町会連合会 「地域で備える、大和地区合同防災訓練」

こんにちは、町会ひよこです。今回は、ビスケットが担当します。

6月30日（日曜日）、中野区立第四中学校で行われた、大和町町会連合会が主催する「大和地区合同防災訓練」に伺いました。

当日は、あいにくの雨模様。体育館での開催です。約200の方が参加し、会場は活気に溢れていました。

開会式後、まずはDVD上映。過去の災害の教訓を生かし、日頃から防災意識を持って地域で協力し合う大切さを学びました。

そして、いざ訓練スタート！AEDによる心肺蘇生訓練と、避難所の備蓄物資を使った訓練です。

AEDによる心肺蘇生訓練では、助けを呼ぶ人やAEDを操作する人など、役割を決めて実践。皆さん、いざという時を想像し、真剣な表情で取り組んでいました。

続いて、備蓄倉庫を見学し、マンホールトイレの組み立て方法を学びました。マンホールトイレとは、指定の下水道マンホールに設置する災害用トイレです。「専用マンホールの目印は？」「どの程度の規模の災害が起きたら使用するの？」など、初めて見た方が多く、皆さん興味津々でした。

今回は、雨天の中での訓練。だからこそ、「AEDは濡れても平気か？」「トイレの設置は地面がぬかるんでいる場合はどうすればいい？」と雨の日ならではの質問が多く聞こえました。「晴れてほしかったな」なんて思いながら参加したビスケットでしたが、災害時での様々な状況を想定できたのではないのでしょうか。

大和町町会連合会の伊藤会長は、「大和地域の5町会は、和気あいあいです。みなさん地域のことを真剣に考え、町会活動に取り組んでいます。」と語っていました。

いつ、どんな状況で災害が起きても、地域の人たちが支えあって協力体制を築く大切さを再認識した町会ひよこでした。

以上、町会ひよこがお伝えしました。

中野区町会連合会のホームページも併せてご覧ください。

<http://nakano-chokai.jp>

